

35分の発生から約2時間
半、災害情報を共有でき
ない状態だったことが16
日、分かった。

人を搬送した」とフアク
スで連絡が入ったのが、
発生1時間後の9日午後
0時35分。県は詳しい状

かけたが、対応した職員
は「詳細は分からない」
と答えたという。

し、「全壊5世帯、5人
不明」との情報をも初めて
得た。

へ知らせたのは、自衛隊
の派遣を要請した午後2
時10分だった」と説明し

時期を9月1
た。
同区間では
高の夏休み明

非常食

災害時に備え新たな策

通信

水やお湯を加えるだけで食べられる「アルファ米」を炊飯せずに作る装置を、山形大大学院理工学研究科の西岡昭博教授(高分子物性)らの研究グループが開発した。コメを粉砕してアルファ化する新しい製造方法で、おかゆとして災害時の非常食などに利用できる。



開発した装置の写真を示す西岡教授

アルファ米 炊飯せず製造可能に

アルファ米は、炊飯した米を急速に乾燥させて作る。西岡教授らは粉砕と同時に熱を与えることで、コメがアルファ化することを発見。東京都と新潟県のメーカーと共同で装置を開発した。西岡教授によると、コメを100℃、120度に加熱した臼に入れて粉砕すると、10秒程度でアルファ化した米粉となる。水を加えると、とろみが出ておかゆとなり、介護食や離乳食としても利用できる。製法は特許を取得した。アルファ化した米粉はグルテンや小麦粉を加えなくても膨らむため、100%米粉だけのパンや菓子も作れるという。

装置は今秋、販売される。販売先は、自治体や菓子メーカーなどを想定している。価格は未定。西岡教授は「災害時にこの装置があれば、コメを入れて簡単に非常食が作れる」と話した。

携帯基地局に燃料電池

NTTドコモは16日、携帯電話基地局の災害時などの非常用電源として、環境性能が高い「燃料電池」を全国で導入する方針を明らかにした。現在は都内の1カ所だけが、年内に導入基地局を選定し、2014年から順次設置を進める。

携帯業界ではソフトバンクも導入を進めており、大規模停電による通信障害を防ぐと

ドコモが導入方針

ともに、環境にも配慮する。燃料電池は、環境に優しい次世代のエネルギーとして注目されている。水素と酸素を化学反応させて電気をつくる仕組みで、二酸化炭素(CO₂)発生を抑えられるのが特長だ。ドコモは太陽光発電の設置も進めており、災害時以外でもこれらを活用して、基地局の消費電力を減らすことを検討している。

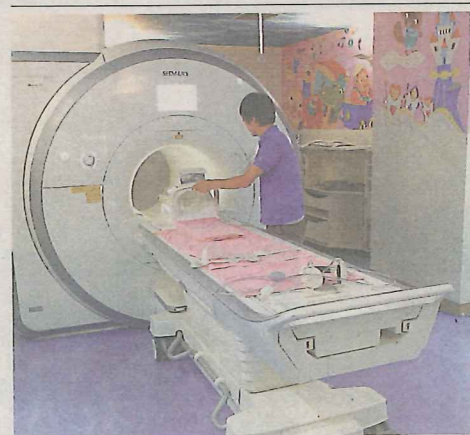
導入する燃料電池としてメタノール水素を取り出し、空気中の反応させる。震災前だった小型の蓄電池に3時間ほどしかもたないが、3日間程度の電力供給が可能になる

小児MRI見守り提言

小児科学会と鎮静薬で合併症報告

大きな音を発する磁気共鳴画像装置(MRI)で子どもを検査する際、鎮静薬の投与で呼吸停止などの重い合併症が報告されているとして、日本小児科学会など3学会が子どもの見守りに専念できる医師や看護師の配置を求めた共同提言をまとめたことが16日分かった。

鎮静薬は子どもが動くのを避け、眠らせるため



画像診断に使われる磁気共鳴画像装置(MRI)＝東京都世田谷区の国立成育医療研究センター

病院側の体制が整っていないと、共同提言前に患者のアレルギー、無などを調べるなどの危険性がある。検査する子を見守るよう求め、関係者の態勢を整えることが重要と提言している。鎮静薬は、

発症前から脳内変化を追跡

認知症の一種アルツハイマー病を発症する前の段階で、脳内どのような変化が起きているかを探る大規模な臨床研究を、東京大や筑波大を中心としたチーム(代表者・岩坪威東京大教授)が早ければ9月にも始める。研究にはこれら2大

ハイマー病

ク質の脳への蓄積状況と認知機能の変化を調べ、発症の仕組みの解明や超早期の診断法の開発を目指す。対象は、健康で物忘れのない65～84歳の約3000人を対象とし、3年間追跡し、半年か

参加研究 臨床から

さらに記憶などの心理検査を行い、脳の状態や症状の経過を調べる。アルツハイマー病にならない人もおり、早期の段階で脳の老

経過を追跡
アルツハイマー病の
たまり始
学)は「早